

地域おこし協力隊通信

協力隊活動の振り返りと今後の意気込み!!



まちおこし班
ふるみ しゅうすけ
古海 修祐

～江府町へ来てもらい交流して魅力発信～

1年は「交」という文字で表してみました。1月のクックパッドの全国初ワークショップを皮切りに、「道の駅奥大山」のOPEN、トークショー・散策・婚活・音楽等のイベント企画を通して徹底的に町外や県外の方に江府町と交わってもらってきたからです。1年目は自分たちが初めて体験する江府町。ということで自分に新鮮さがありましたが、2年目になるとその新鮮さが薄れてきます。そこで江府町を知らない人に江府町を体験してもらい、話を聞くことを通して江府町の「他のまちにはない」魅力を再確認してきました。今年はその魅力を生かし江府町がさらにいい町になっていくように取り組んでいきたいと思っています。

活動内容は「奥大山！3000人のわっしょいブログ！」に綴っています。インターネットが見られる方は「奥大山 わっしょい」で検索してみてくださいね♪



▲天の蜚ゆかりの地ツアーで江府町の魅力を発信！

～一回り大きく成長しました～

2015年を一文字の漢字で表すと「大」です。協力隊2年目の年は、たくさんの方に助けってもらい、たくさんのお話を学び、初年度より一回り大きく成長できたと思います。みなさま、本当にありがとうございました。一番印象に残っていることといえば、私の仕事のパートナーである「おくだいせんくん」と一緒に活動できたこと。うまいもん祭の宣伝でテレビに出演したり、冬のスキー場開きのときには、もち撒きに参加したりしました。最初は「なんだこの黄緑の物体は～」なんて言っていた方も「おくだいせんくん活躍しているね！」「テレビみたよ～」と声をかけてくださるようになり、一緒に活動している身としてとても嬉しく思うことが多かったです。

2016年は私にとって、協力隊の任期が最後の1年、そして年女です。お猿さんとおくだいせんくんと一緒に、何事にも悔いなく元気に全力で駆け抜けたと思います！今年もどうぞよろしくお祈りします！



まちおこし班
かみ たに みなみ
上谷 美波



▲おくだいせんくんがもっと活躍できる一年に！

地域おこし協力隊

かたおか くにや

片岡薫哉 31歳 (独身)

住むところを探しています！



空き家の情報を探しています！

地域おこし協力隊農業支援班として活躍中の片岡薫哉さん。協力隊の活動として3年目を迎えるにあたり、ある決断をしました。それは“引っ越し”です。現在、町営住宅にて生活中の片岡さんが今後の江府町への定住を考え新たな住居を探しています。空き家などの情報がありましたら下記の連絡先まで情報提供をお願いいたします。(地域おこし協力隊事務所 ☎72-3122)

【住むところを探している理由は？】

江府町での本格的農業の実施や協力隊の任期終了後も江府町で暮らしていくためです。

【地域おこし協力隊としての活動について】

今まで農事組合法人宮市に入らせていただき、特別栽培米コシヒカリや奥大山高原味噌の仕込みのお手伝い、農業生産組織の「なかまなふあーむ」としてミニトマト・水菜などの栽培のお手伝いをさせて頂きました。その中で野菜の栽培や販売することが面白く思い、今年も引き続きお手伝いさせて頂くことになりました。

今後も江府町の農業発展のため、全力で頑張ります。



▲今後は野菜で独立していきたいです！

【こんな空き家ありませんか？】

①江府町全域（できれば米沢周辺）

畑があるのが主に米沢校区周辺ですが、今回幅広く募集することに致しました。

②改修が必要でないこと

すぐ住める状態、もしくは少し直せば住めるようなお宅がいいです。

手先が不器用なので自力修繕に自信がないためです。

③3月末までに引っ越せること

春からの農繁期までには住む場所を決めたいです。

【移住後はこんなことで集落の

お役に立ちたい！】

①畑や田んぼの畔草刈り

空き家をお貸し頂いた方の田んぼか畑で畦草の管理などが必要でしたら、お手伝いできる範囲で協力いたします。

②集落活動への参加

集落全体の活性化にどんどん協力いたします！

③電化製品関係の初期設定

東京時代に家電量販店や電話屋で働いていたこともあるので電化製品などの難しい設定は僕におまかせください！